

平成 25 年 度  
財 務 情 報 ・ 事 業 報 告

① 財産目録

② 貸借対照表

③ 収支計算書

資金収支計算書

資金収支内訳表

消費収支計算書

消費収支内訳表

④ 事業報告書

学校法人の概要

理事会・評議員会の開催と審議内容

頌栄短期大学報告

頌栄幼稚園報告

2014年度入試結果

2013年度財務状況の概要

⑤ 監査報告書

学校  
法人 頌 栄 保 育 学 院

# 財 産 目 録

平成26年3月31日

1 資産総額		3,475,003,512 円
内 基本財産		2,682,035,245 円
運用財産		792,968,267 円
2 負債総額		436,169,266 円
3 正味財産		3,038,834,246 円

科 目	2011年度末
一 資産額	
(一)基本財産	
1 土地	1,370,406,692 円
2 建 物	989,727,839 円
3 構築物	14,428,565 円
4 図 書	228,204,446 円
5 教育研究用機器備品	59,896,834 円
6 その他の機器備品	6,709,653 円
7 車 両	1,000 円
8 電話加入権	698,316 円
9 出資金	489,900 円
10 長期貸付金	11,472,000 円
(二)運用財産	
1 現金預金	497,552,676 円
2 特定定期預金	84,625,926 円
3 施設引当定期預金	152,353,789 円
4 有価証券	25,000 円
5 未収入金	47,094,364 円
6 前払金	3,494,512 円
7 短期貸付金	7,822,000 円
合 計	3,475,003,512 円
二 負債額	
1 固定負債	207,210,540 円
(1)長期借入金	37,600,000 円
日本私立学校振興・共済事業団	37,600,000 円
(2)退職給与引当金	169,610,540 円
2 流動負債	228,958,726 円
(1)短期借入金	6,960,000 円
(2)未払金	48,121,355 円
(3)前受金	167,248,640 円
(4)預り金	6,628,731 円
合 計	436,169,266 円
三 正味財産(資産総額－負債総額)	
合 計	3,038,834,246 円
注記：土地及び建物内訳	
土 地	29,936.29 m <sup>2</sup>
内 造成地	14,097.60 m <sup>2</sup>
未造成地	15,838.69 m <sup>2</sup>
建 物	8,524.12 m <sup>2</sup>
内 短大A棟	1,208.55 m <sup>2</sup>
短大B棟	2,023.54 m <sup>2</sup>
短大C棟	390.19 m <sup>2</sup>
幼稚園棟	903.23 m <sup>2</sup>
学生ホール	99.97 m <sup>2</sup>
体 育 館	2,080.54 m <sup>2</sup>
講 堂	497.98 m <sup>2</sup>
短大D棟	1320.12 m <sup>2</sup>

## 貸借対照表

平成26年 3月31日

&lt;総括表&gt;

(単位 円)

資 産 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定資産	2,919,039,960	2,900,896,677	18,143,283
有形固定資産	2,669,375,029	2,651,185,203	18,189,826
その他の固定資産	249,664,931	249,711,474	△ 46,543
流動資産	555,963,552	517,669,363	38,294,189
資 産 の 部 合 計	3,475,003,512	3,418,566,040	56,437,472
負 債 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定負債	207,210,540	222,407,100	△ 15,196,560
流動負債	228,958,726	183,891,852	45,066,874
負 債 の 部 合 計	436,169,266	406,298,952	29,870,314
基 本 金 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
第1号基本金	3,805,010,767	3,734,974,447	70,036,320
第4号基本金	40,000,000	40,000,000	0
基 本 金 の 部 合 計	3,845,010,767	3,774,974,447	70,036,320
消 費 収 支 差 額 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
翌年度繰越消費支出超過額	806,176,521	762,707,359	43,469,162
消 費 収 支 差 額 の 部 合 計	△ 806,176,521	△ 762,707,359	△ 43,469,162
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
負債の部、基本金の部 および消費収支差額の部合計	3,475,003,512	3,418,566,040	56,437,472

## 資金収支計算書

平成25年 4月 1日 から

平成26年 3月31日 まで

&lt;総括表&gt;

(単位 円)

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	436,262,060	436,440,860	△ 178,800
手数料収入	6,580,000	5,742,000	838,000
寄付金収入	10,650,000	17,948,257	△ 7,298,257
補助金収入	73,750,000	70,480,790	3,269,210
国庫補助金収入	45,000,000	42,513,000	2,487,000
地方公共団体補助金収入	28,750,000	27,967,790	782,210
資産運用収入	700,000	222,600	477,400
事業収入	7,100,000	6,785,250	314,750
雑収入	44,578,900	44,990,040	△ 411,140
前受金収入	159,550,000	167,248,640	△ 7,698,640
その他の収入	22,581,200	22,570,859	10,341
資金収入調整勘定	△ 212,091,180	△ 214,279,644	2,188,464
前年度繰越支払資金	498,572,603	498,572,603	
収入の部合計	1,048,233,583	1,056,722,255	△ 8,488,672
支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	377,015,500	375,313,588	1,701,912
教育研究経費支出	95,830,000	87,225,299	8,604,701
管理経費支出	45,565,000	41,621,564	3,943,436
借入金等利息支出	1,170,800	1,170,800	0
借入金等返済支出	6,960,000	6,960,000	0
施設関係支出	55,213,725	53,718,391	1,495,334
設備関係支出	24,187,366	23,419,383	767,983
資産運用支出	98,078	63,457	34,621
その他の支出	27,450,100	20,731,432	6,718,668
[予備費]	( 1,639,169 ) 5,160,831		5,160,831
資金支出調整勘定	△ 49,828,480	△ 51,054,335	1,225,855
次年度繰越支払資金	459,410,663	497,552,676	△ 38,142,013
支出の部合計	1,048,233,583	1,056,722,255	△ 8,488,672

## 資金収支内訳表

平成25年 4月 1日 から

平成26年 3月31日 まで

## 収入の部

&lt;総括表&gt; (単位 円)

科目	部門	頌栄短期大学	頌栄幼稚園
学生生徒等納付金収入		386,149,940	50,290,920
手数料収入		5,656,000	86,000
寄付金収入		16,687,549	1,260,708
補助金収入		42,569,326	27,911,464
国庫補助金収入		42,513,000	0
地方公共団体補助金収入		56,326	27,911,464
資産運用収入		200,102	14,670
事業収入		3,635,500	3,149,750
雑収入		39,955,190	5,031,350
計		494,853,607	87,744,862

## 支出の部

&lt;総括表&gt; (単位 円)

科目	部門	頌栄短期大学	頌栄幼稚園
人件費支出		324,995,025	50,318,563
教育研究経費支出		74,437,244	12,788,055
管理経費支出		32,445,194	6,025,769
借入金等利息支出		1,058,300	112,500
借入金等返済支出		6,460,000	500,000
施設関係支出		49,366,666	4,351,725
設備関係支出		21,382,858	2,036,525
計		510,145,287	76,133,137

## 消費収支計算書

平成25年 4月 1日 から  
平成26年 3月31日 まで

&lt;総括表&gt;

(単位 円)

消費収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	436,262,060	436,440,860	△ 178,800
手数料	6,580,000	5,742,000	838,000
寄付金	10,650,000	18,256,873	△ 7,606,873
補助金	73,750,000	70,480,790	3,269,210
国庫補助金	45,000,000	42,513,000	2,487,000
地方公共団体補助金	28,750,000	27,967,790	782,210
資産運用収入	700,000	222,600	477,400
事業収入	7,100,000	6,785,250	314,750
雑収入	44,578,900	44,990,040	△ 411,140
帰属収入合計	579,620,960	582,918,413	△ 3,297,453
基本金組入額合計	△ 71,100,000	△ 70,036,320	△ 1,063,680
消費収入の部合計	508,520,960	512,882,093	△ 4,361,133
消費支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費	369,869,540	367,077,028	2,792,512
教育研究経費	148,030,000	138,478,804	9,551,196
管理経費	52,225,000	48,320,178	3,904,822
借入金等利息	1,170,800	1,170,800	0
資産処分差額	1,316,062	1,304,445	11,617
[予備費]	( 0 ) 3,800,000		3,800,000
消費支出の部合計	576,411,402	556,351,255	20,060,147
当年度消費支出超過額	67,890,442	43,469,162	
前年度繰越消費支出超過額	762,707,359	762,707,359	
翌年度繰越消費支出超過額	830,597,801	806,176,521	

消費収支内訳表

平成25年 4月 1日 から

平成26年 3月31日 まで

消費収入の部

<総括表> (単位 円)

科目	部門	頌栄短期大学	頌栄幼稚園
学生生徒等納付金		386,149,940	50,290,920
手数料		5,656,000	86,000
寄付金		16,886,935	1,369,938
補助金		42,569,326	27,911,464
国庫補助金		42,513,000	0
地方公共団体補助金		56,326	27,911,464
資産運用収入		200,102	14,670
事業収入		3,635,500	3,149,750
雑収入		39,955,190	5,031,350
帰属収入合計		495,052,993	87,854,092
基本金組入額合計	△	65,612,590	△ 4,423,730
消費収入の部合計		429,440,403	83,430,362

消費支出の部

<総括表> (単位 円)

科目	部門	頌栄短期大学	頌栄幼稚園
人件費		317,545,565	49,531,463
教育研究経費		117,734,893	20,743,911
管理経費		38,593,257	6,576,320
借入金等利息		1,058,300	112,500
資産処分差額		1,097,070	207,375
消費支出の部合計		476,029,085	77,171,569

## 2013年度 頌栄保育学院事業報告

### I 学校法人の概要

#### ①建学の理念・精神・教育目標

神をわれらの主とあがめ、神の子イエス・キリストをわれらの救いとする信仰に立ち、広く神と人々とに仕えるとともに、本学の創立者、アニー・L. ハウ先生がもっとも信奉されたフレーベルの教育理念を幼児の保育に生かすことを本学の建学の精神としている。

頌栄短期大学は明治22年10月22日、関西初のプロテスタント教会「摂津第一基督公会（現日本キリスト教団神戸教会）」を中心とした神戸婦人会により設立された。同婦人会は明治19年、キリスト教による風俗改良運動の一環として幼稚園の設立を企て、その指導者をアメリカン・ボード（米国伝道会）に求めた。同会の紹介に応じてアニー・ライオン・ハウ（Annie Lyon Howe）が明治20年来神、明治22年10月、日本最初のキリスト教主義による保育養成機関「頌栄保姆伝習所」を開校し、2週間遅れて「頌栄幼稚園」を開園した。幼稚園を開園する前に保育者の養成が必要であり、頌栄保姆伝習所の誕生となった。これが頌栄短期大学の前身である。頌栄保姆伝習所、頌栄保育専攻学校、頌栄短期大学と名称を変えて、キリスト教主義による保育者養成機関として今日に至っている。

フリードリッヒ・フレーベル（1782～1852）によって創設された幼稚園の理念を継承し、フレーベルが幼児の神性・価値・可能性に注目しそこに人間開放の原点を見ているということ、保育の原点に据えて教育を実践するというA. L. ハウの教育思想を受け継ぎ、幼児教育に目標を定め、小規模校に留まり続けて教育の実をあげていく。

#### 2013年度概要

- ・キリスト教の精神に基づいて伝統を重ねている本学院は、10月22日を創立記念日と定めている。当年度は、10月16日（水）に創立124年記念の礼拝を守った。（奨励：酒井哲雄院長「頌栄のこころ」）
- ・「記念誌編集委員会」および「式典準備委員会」が継続して開催され、2014年10月25日（土）に計画されている125周年記念式典に向けた準備を進めた。
- ・常務会の構成メンバーが拡大され、経営企画委員会の課題を踏襲しつつ、現実直面する諸課題、将来に向けての検討がなされている。
- ・前年度10月を最初に9回の討議を重ねた院長・学長候補選考委員会からの、服部祥子氏（大阪人間科学大学名誉教授／精神科医／日本基督教団東神戸教会員）を次期院長・学長候補とするという答申を受け、服部祥子氏に次期院長・学長として就任いただくことを理事会全会一致で議決した。
- ・教育環境の改善を図るため、短期大学学長のもと施設検討委員会が設置され検討がなされた。理事会の提言を受け、岡成一氏（平成テクノ株式会社）にコンサルタントを依頼、B棟1階部分を改修し、150人収容の講義室、研究室3室、印刷室、休養室、進路資料室を整備した。
- ・125周年に向け募金計画が検討された。事業計画として①日本保育界の原点であるハウ研究の充実、資料の集積発信を目指したハウ記念史料室の新設②将来を見据えた短期大学・専攻科の教育研究充実・教育施設改善③時代に即した幼稚園の整備をあげ、2017年8月末までの期間、目標額1億円として、募金の呼び掛けを開始した。
- ・ハウ記念資料室の実現にむけ、準備委員会が2014年3月に発足し検討が始められた。
- ・頌栄保育学院後援会を学校法人頌栄保育学院の中に位置づけることによって、後援会会費が学校法人への直接の寄付金と認められることとなり、後援会会員に税額控除の適用を受けていただけることとなった。

#### ②沿革

明治22年（1889年）10月22日 日本で最初の私学の保育養成校として、頌栄保姆伝習所（現頌栄短期大学の前身）創設。

明治22年（1889年）11月4日 頌栄幼稚園を開設。

明治41年（1908年）9月17日 兵庫県から幼稚園保育無試験検定の指定



昭和10年(1935年) 6月16日 頌栄保育専攻学校に改組。  
 昭和17年(1942年) 12月 財団法人頌栄保育学院を設立。  
 昭和25年(1950年) 3月14日 頌栄短期大学の設置認可、保育科設置。入学定員60名  
 昭和26年(1951年) 3月5日 財団法人を廃し、学校法人「頌栄保育学院」を設置。  
 昭和28年(1953年) 3月5日 厚生大臣から保育資格試験の科目免除校の指定。  
 昭和33年(1958年) 3月18日 短期大学保育専攻科(修業年限1年)を設置認可。  
 昭和39年(1964年) 3月14日 厚生大臣から保育養成所の認可(児童福祉施行令規程による)。  
 昭和52年(1977年) 短期大学、幼稚園ともに新校地(神戸市東灘区御影山手1丁目)に移転を決定。  
 昭和54年(1979年) 8月1日 学校法人頌栄保育学院の位置変更の認可、短期大学移転。  
 昭和55年(1980年) 幼稚園移転。短期大学の入学定員60名から100名に。  
 平成元年(1989年) 10月21日 創立100周年記念式典を挙行。  
 平成3年(1991年) 3月30日 頌栄人間福祉専門学校開設。  
 平成6年(1994年) 2月1日 頌栄短期大学専攻科(保育専攻)を学位授与機構が認定。  
 平成12年(2000年) 2月15日 短期大学専攻科(保育専攻、修業1年)を廃し、学位授与機構認定の短期大学専攻科(保育専攻、修業年限2年)を設置。  
 平成18年(2006年) 短期大学の入学定員150名に。  
 平成21年(2009年) 3月31日 頌栄人間福祉専門学校閉校  
 平成26年(2014年) 10月25日 創立125周年記念式典を挙行

### ③設置学校等

法人名 学校法人 頌栄保育学院 理事長 酒井 哲雄  
 所在地 神戸市東灘区御影山手1丁目18番1号  
 設置する学校 1. 頌栄短期大学 保育科・専攻科 学長 阿部 恩  
 2. 頌栄幼稚園園長 園長 阿部 扶早  
 役員・教職員の概要 理事 12名、 監事 2名、 評議員 26名  
 教職員数

#### 頌栄短期大学

	計	男	女
教員	15	6	9
職員	12	5	7
計	27	11	16

#### 頌栄幼稚園

	計	男	女
教諭	7	0	7
計	7	0	7

入学定員、学生数の状況 2013年5月1日現在

#### 頌栄短期大学保育科

	入学定員	学生数	男	女
保育科1年	150	157	4	153
保育科2年	150	155	7	148
計	収容定員300	312	11	301

#### 頌栄短期大学専攻科

	入学定員	学生数	男	女
専攻科1年	20	13	2	11
専攻科2年	20	10	3	7
計	収容定員40	23	5	18

頌栄幼稚園

	定員	園児数	男	女
年少	100	41	20	21
年中		38	18	20
年長		55	34	21
合計	収容定員 100	134	72	62

卒業、修了者数

2013年9月 短期大学 保育科卒業生数 1名  
 2014年3月 短期大学 保育科第63回卒業生数 保育科 145名  
 専攻科(保育専攻)第50回修了生数 9名  
 幼稚園 第125回卒業園児数 54名

II 理事会・評議員会の開催と審議内容

理事会：2013年度は4回の理事会を開催した

第1回 定数13 出席13(内委任状3)

日時 2013年5月28日(火) 午後3時から午後5時

議案

(1) B棟改修工事及びコンサルタント契約について (2) 2014年度改修工事計画について (3) 2012年度決算について (4) 2013年度第1回補正予算について (5) 2012年度事業報告について (6) 院長・学長候補者選考について (7) 創立125周年に向けての諸準備

第2回 定数12 出席12(内委任状4)

日時 2013年9月25日(水) 午後3時から午後5時

議案

(1) 次期院長学長候補選考について (2) 常務会報告事項①125周年記念の募金計画について・特別寄付金募集・これまでの募金の使途②頌栄保育学院後援会を学校法人頌栄保育学院の組織に位置づける件③ハウ記念資料室の新設 (3) 2014年度工事計画について 2013年度工事報告と検証(教授会、教職員全体協議) ②2014年度工事計画概要 (4) 125周年記念準備の進捗状況について①式典準備委員会②記念誌編集委員会 (5) 学則変更について

第3回 定数12 出席12(内委任状2) 後

日時 2013年12月11日(水) 午後4時から午後6時

議案

(1) 院長・学長交代に伴う諸準備 (2) 次期理事長について (3) 図書館新システムのためのソフト導入について (4) 2013年度上半期予算執行状況と下半期の執行予定について (5) 2013年度第2回補正予算について (6) 創立125周年準備について①ハウ記念資料室②式典準備委員会③記念誌編集委員会 (7) 2013年度工事報告 (8) 2014年度工事計画について (9) 頌栄短期大学、学則変更について (10) 頌栄幼稚園、園則変更について (11) 教職員人事について

第4回 定数12 出席12(内委任状1)

日時 2014年3月20日(木) 午後4時から午後6時

議案

(1) 理事会・評議員会の構成について (2) 理事長の選任について (3) 教職員人事について (4) 2013年度第3回補正予算について (5) 2014年度事業計画について (6) 2014年度当初予算について

評議員会：2013年度は3回の評議員会を開催した。

第1回 定数26 出席21(内委任状8)

日時 2013年5月28日(火) 午後3時から午後5時

## 議案

(1) B棟改修工事及びコンサルタント契約について (2) 2014年度改修工事計画について (3) 2012年度決算について (4) 2013年度第1回補正予算について (5) 2012年度事業報告について (6) 院長・学長候補者選考について (7) 創立125周年に向けての諸準備

第2回 定数26 出席24 (内委任状8)

日時 2013年12月11日(水) 午後2時から午後4時

## 議案

(1) 院長・学長交代に伴う諸準備 (2) 2013年度工事報告 (3) 2014年度工事計画について (4) 図書館新システムのためのソフト導入について (5) 2013年度上半期予算執行状況と下半期の執行予定について (6) 創立125周年準備について

第3回 定数26 出席25 (委任状8)

日時 2014年3月20日(木) 午後2時から午後4時

## 議案

(1) 2013年度第3回補正予算について (2) 2014年度事業計画について (3) 2014年度当初予算について (4) 125周年に向けての諸準備

### Ⅲ 頌栄短期大学 報告

#### 1. 入学定員の継続した確保

入学定員の充足については、進路支援室と共に短期大学の生命線である。2014年度入試も保育科159名、専攻科12名の入学者が与えられた。広報委員会及び入試委員会を中心に、7月27日(土)、8月9日(金)、そして次年度に向けて3月15日(土)と年3回のオープン・キャンパスを実施、内容・プログラムも年ごとに綿密に計画実施しての効果が現れている。また年間50数回にわたる高校での入試説明会や模擬授業を各教員が精力的に担って入試・広報に繋げている。また年々参加者の校数が減少する傾向にあるが高校の進路指導部の先生方を中心に入試説明会も実施、保育は頌栄との思いを各高校の先生方が認識してくださっている事を実感できた貴重な会合であった。

#### 2. 進路支援室の充実

2012年度に進路支援室を独立させ、更なる充実を図ってきた。進路は入試同様短期大学の生命線であるので、教職員ともその充実に努力を惜しまず協力している。今年度も保育系への就職は100%であり、今後もこの線を大切に取る。今年度後期からは新しく整えられた進路資料室は学生にも好評であり、その利用方法もさらに充実させたい。また進路に関するガイダンスも今年度も新しく取り組んできたが、新年度に向けても更なる充実を図る。

#### 3. 教育環境の整備

2012年度から教授会内に施設検討委員会を立ち上げ、教育環境の整備について協議し、教授会に提案し、理事長に具申してきたが、2013年8月にB棟の改修工事を行った。160名収容の大教室(B222)、進路資料室を個別相談可能なブースを2室つくるなど充実させ新規に設置、研究室3部屋、休養室(将来会議室として使用するが当面休養室とする)、印刷室、女子職員更衣室、給湯室が完成した。年度末には大教室にマイク設備修復工事も完了し、新しい環境整備の第一歩が整った。

#### 4. 新カリキュラムの改編

2013年度で退職する教員もおり、新院長・学長を迎えるのを前に、新カリキュラムへの検討を行った。初年次教育の充実と保育および教育実習との関連や進路共連携を深める意味合いで基礎演習科目を設置、また2年に亘っての本学独自の科目・総合演習を1年後期に集中して取り組み、頌栄学として人間の尊厳性を中心に建学の精神を学ぶ科目として設置した。また器楽と声楽を1コマの中に取り組みでより充実しての保育者の音楽的資質を伸ばすことを目指しての音楽を目指す。また保育内容系の教員によって総合芸術として科目を設置し、表現・製作・発表を目的としての新しい科目を設置した。次年度は新カリキュラムを実施しつつ検証していく年度とする。

## 5. 相互評価の実施

2013年度大阪キリスト教短期大学と頌栄短期大学の間で、相互評価を実施した。それぞれの自己点検・評価報告書を交換し、その基づく質問書の交換ならびに実地での質問と応答、施設見学を通して、学び多い相互評価を経験した。これを頌栄の教育にも活かして今後の成長に繋げたい。報告書は冊子として2014年3月31日に発行され、配布された。

## 6. 自己点検・評価の充実

自己点検・FD委員会では2013年度実施の相互評価の準備を行う中で、2015年度には第三者評価を受審するが、その問題点を洗い出しながら、諸規定の見直し作業が各委員会でも必要なことを訴えてきた。この取り組みは、各部・各委員会でも検討を始めている。今年度の相互評価で経験した第三者評価方式でもその課題が確認されており、次年度には取り組みを始める。

併行して従来頌栄が自己点検・報告書として作成してきた各部・各委員会報告書を継続して作成し、短期大学基準協会の定める自己点検・評価報告書には記載されない本学の教育活動の記録とし編集することとした。その名称は「事業報告書」とする。

## 7. 学士入学者に対しての幼稚園教諭一種免許取得に向けた対応

大学を卒業して専門学校に進む学生も増えているが、頌栄に入学してくる学士入学者が保育科在学中に、専攻科の科目等履修により幼稚園教諭一種免許をとれるよう工夫をおこなった。今年度は2012年度入学の学士取得者4名が一種免許を取得した。

## 8. 配慮を要する学生への対応

問題を抱えながら学ぶ学生が増えている。学生が相談しやすい環境をさらに充実していく。様々な状況の中、個々人にどう対応し、受け止めることができるか、検討を重ねている。学生相談室との連携も課題である。

## 9. 休養室の開設

授業中に体調の急激な変化を訴えて救急車の手配を要する学生が以前に比べ増えているのが現状である。その症状から見ても職員が対応するには困難であるので、保健師あるいは看護師の配属が検討されてきた。2013年度の後期から教育環境の整備が進むのを受け、施設検討委員会でも休養室の設置を視野に入れつつ教授会にも提案し、後期から派遣会社に依頼し導入を実施した。学生の利用は良くなされ、その存在が安心感を生み、良き方向に動き始めて来た。

次年度は派遣された看護師が保健師の資格も有していることもあり、また半期の活動を高く評価して頌栄と非常勤職員として契約して臨むこととなった。

## 10. キリスト教教育

全学礼拝を火曜日水曜日の週2回全校生で守っている。また5月には新入生を対象に春季研修会を「人間の尊厳性」(保育科1年)「人は何によって生きるか」(専攻科1年)をテーマに1泊2日にて行った。11月21日・22日には2名の講師を迎え、「出会い」をテーマに、グループ協議には近隣の牧師の方々に協力を得、秋季キリスト教研修会をおこなった。学生が自分自身を見つめ、広く生きる意味を考えるよい機会となっている。

## 11. 資格取得講習

頌栄短期大学では幼稚園教諭二種免許及び保育士資格を取得できる他、希望して講習あるいは試験を経て取得できる資格・認定について取り扱っているが、2013年度はキャンプインストラクター13名、ピアヘルパー34名、救命救急士1年156名が認定された。

## 12. 非常勤講師と専任講師の懇談会

非常勤講師の方々に頌栄を理解していただくため、また2013年度の新カリキュラム実施についての説明、及び学生対応等についての問題・課題を共有するため、専任教員との懇談会を実施した。今回事前に非常勤講師にアンケートを配布して共通の課題などの洗い出しをおこなった。

## 13. 免許法認定公開講座・教員免許状更新講習

幼稚園教諭2種免許を有して経験を積んでいる保育者に、幼免1種取得への道を与える免許法認定公開講座、及び教員免許状10年更新制の講習会を開講した。受講生免許26名、更新講習23名、双方を兼ねての受講5名 合計49名。

14. 第55回全神戸短期大学総合体育大会の実施  
責任校として大会の計画運営にあたった。頌栄は当日卓球会場の担当をおこなった。
15. 公開プログラム  
乳幼児研究所主催のグローリー・オープンカレッジ6月12日(水)「音で遊ぶー手作り楽器を作るー」講師沖中重明専任講師 56名、夏季保育セミナー8月23日(木)「リズム合奏を楽しむーあなたの手でリズム合奏の編曲をー」阿部恩教授、参加者62名参加 を開催した。
16. 高大連携の推進  
県立東灘高校に2010年度から「医療・看護・保育」類型のクラスが設置されている。1年生及び2年生を対象とした保育士に関する特別授業の要請があり、本年度も年3回授業を頌栄が担当した。
17. ハウ資料の整備と充実  
今年度はB棟の改修工事が行われた。それに伴いB棟1階に設置されていたハウ資料室の移転が課題となった。まだ正式には決まらない段階であったが、工事の必要性から、ハウ資料をD棟1階101、102教室の移動することとした。この移動に伴い、前年度から暫時行っていた資料の中性紙袋への収納を加速させ、図書館司書および派遣社員を依頼して行い、2013年7月末にはD棟へ収納した。その後さらに中性紙ダンボール箱への収納を行い、2014年度からは本格的な資料整理を目指すこととなった。  
理事会傘下にハウ資料準備委員会が年度末に設置され、その委員長は次期乳幼児研究所所長が就任することとなり、資料整備と併せ本格的な資料室への第一歩としてスタートした。
18. 頌栄公開講座について  
1995年から年4回行われてきた童謡を歌う会は今年度も行い、地域に開かれた大学としての1活動であったが、今年度で閉じることとなった。また1998年から頌栄公開講座として行われた頌栄教会オルガン入門講座および研究会は、太宰まり講師の献身的な働きで16年間続けられ、45名の修講証書授与者を各教会に送り返してきたが、講師のご都合により今年度で閉じることとなった。長年の働きに心より感謝したい。  
なお、オルガン演奏会は6月および11月の2回、次年度も開催する。
19. 卒業修了生  
2013年9月24日(火) 卒業生1名、2014年3月14日(金) 短期大学第63回卒業145名 専攻科第50回修了生9名

#### 年間定例行事

- 4月)・入学式 ・オリエンテーション ・前期事業開始 ・保育科2年幼稚園観察実習 ・土曜授業日①
- 5月)・母の日特別礼拝 ・専攻科1年春季研修会(1泊2日) ・保育科1年春季研修会(1泊2日) ・保育科2年保育実習Ⅱ ・土曜日授業② ・市民救命士講習
- 6月)・市民救命士講習② ・花の日特別礼拝 ・土曜日授業③④⑤ ・免許法認定公開講座/教員免許状更新講習 ・入試説明会 ・市民救命士講習
- 7月)・土曜授業日⑥ ・新卒業生懇談会 ・保育科1年水泳 ・免許法認定公開講座/教員免許状更新講習 ・オープン・キャンパス ・土曜日授業⑥ ・市民救命士講習
- 8月)・前期授業終了 ・前期定期試験 ・免許法認定公開講座/教員免許状更新講習 ・オープン・キャンパス ・専攻科2年修了研究中間発表会 ・専攻科体育特論(於:阿南海洋センター2泊3日) ・保育科2年保育実習Ⅲ
- 9月)・キャンプインストラクター講習(六甲YMCA) ・専攻科I期入試 ・追再試験 ・後期オリエンテーション ・保育園および施設観察見学 ・保育科2年教育実習(～10月) ・保育科1年専攻科1・2年後期授業開始
- 10月)・保育科2年後期授業開始 ・創立124年記念礼拝 ・土曜日授業①②
- 11月)・第I期推薦入試および社会人、学士取得見込者入試 ・収穫感謝特別礼拝 ・秋季キリスト教研修会 ・頌栄祭 ・土曜日授業③④ ・専攻科II期入試
- 12月)・社会事業奨励礼拝 ・第II期推薦入試および社会人、学士取得見込者入試 ・クリスマス礼拝 ・

クリスマスの夕べ ・土曜日授業⑤ ・冬季休暇

- 1月)・専攻科2年修了研究提出 ・保育科1年保育実習Ⅰ ・土曜日授業⑥
- 2月)・一般入試および第Ⅲ期社会人、学士取得見込者入試 ・後期授業終了 ・後期定期試験 ・専攻科2年修了研究発表会 ・専攻科1年保育研究発表会 ・専攻科第Ⅲ期入試 ・器楽実技試験 ・保育科2年追再試 ・専攻科2年門出の集い(1泊2日) ・保育科1年施設実習
- 3月)・卒業礼拝 ・保育科2年門出の集い ・保育科2年卒業式および専攻科2年修了式 ・保育科1年施設実習 ・保育科1年追再試 ・オープン・キャンパス

#### Ⅳ 頌栄幼稚園 報告

##### ○ キリスト教保育

- ①キリスト教保育 塚本潤一宗教主事に「聖書に聴く会」を通し、カリキュラムの学びを続けている。講義やディスカッションを通して、各月の保育目標から日々の保育への展開方法を学んでいる。月のテーマに即した小さな素話を日々続け、子どもの心に神さまの存在が届く礼拝を心掛けてきた。また、今年も作詞：年長こどもたち、作曲：塚本潤一先生の新しい運動会の賛美歌パートⅢ「みんなであのしい運動会」が誕生した。
- ②誕生会 誕生児の保護者をお招きし、誕生会の礼拝を行っている。阿部恩先生から月の聖句を軸とした聖書のお話を聴いた。子どもたちへのプレゼントは頌栄の自然を生かした教師手作りのアーチと草花の冠を贈った。
- ③土曜礼拝 学期に一度の土曜礼拝は5年目を迎え定着している。在園児・卒園児・保護者・地域の方を含め、100名を下らず、頌栄幼稚園の保育を知っていただくための大切な日となっている。また、公立小学校へ通う子どもたちにとり、礼拝は神さまと出会うひとときであり、なつかしく思うと話をしてくれる小学生もいる。
- ④リ・ユニオン 卒園児の保護者と共に、聖書を学ぶ会を学期に一度開いている。心待ちにされている保護者も多く、中高生の保護者から小1の保護者まで20名強の参加人数となっている。阿部恩学長の説教を楽しみに参加されている保護者が多い。

##### ○ 保育内容

- ①自然の保育 吉田啓子先生とハウ先生の理科教育研修を重ねるうち「自然」を介した保育展開は、感じること・考えること・行動することと子どもの総合的な発達につながる要素が多くあると改めて感じる事ができた。一年間の「自然」の保育では、種まきから収穫、クッキング、製作など、学年により、多少の差はあるが、子どもたちにとり大きな楽しみの一つであった。(別紙参照)本年度はハウ先生が大切にされた保育について二度の研修会を行った。
- ②のびのび保育 登園から90分間、園庭で遊ぶ「のびのび保育」は園児たちの楽しみでもある。今年2名の新任教員を含め、ていねいに話し合いを繰り返し進めてきた。指図・命令・禁止・許可をなるべく控え、保育を進めたが、ややもすると教師主導型の保育になった。一人ひとりの子どもを尊重し、教育を進めていくことで、自立・自律が少しずつ身についていった。のびのび保育のまとめとして、今年も年長組が軸となり、「子どもたちが創る運動会」を行う事ができた。
- ③幼稚園教育100年を迎えた全日本私立幼稚園連合会から「子どもがまんなかPROJECT 100年展示/幼稚園の100年」のパネル発表の依頼を受け、7月29日に開催された。頌栄幼稚園は創立から現在までの沿革を発表した。
- ④第28回近畿地区私立幼稚園教員研究大会において公開保育を行った。大阪・奈良・三重・京都から定員50名を超す参加希望者があった。分科会・全体会では多くの質問を受けたが、時間がなく説明不足もあったので、参加者へ原田碩三氏の小冊子を郵送した。

##### ○ 保護者教育の充実

- ①県民局が主催する親子学級を行った。「家族の絆を深め家庭の力を高めよう―地域に広げるすくすく子育て―」のテーマでの講演会・実技研修会を通し、親子の触れ合い、地域の異年齢、異世代の交流を行った。

講演会及び実技研修

- 4/23 開講式・原田碩三先生講演会「身体と心の健康の話」
- 4/27～29 阿南親子キャンプ
- 5/25 親子で遊ぼう
- 6/8 親子竹馬作り
- 7/2 人形劇・ハンドベル公演会
- 7/3 七夕茶会
- 7/11 志村好美先生講演会「幼稚園から考える大学受験」
- 9/12 祖父母触れ合い遊び
- 9/14 親子で運動会遊び
- 10/30 交通安全教室
- 11/7 小野澤みさを先生講演会「こどもたちの愛と信頼にこたえるために」
- 12/7 親子餅つき大会
- 1/11 親子でお正月遊び
- 2/18 親子剣玉教室
- 2/19 人形劇・ハンドベル公演会・閉講式

②子育てセミナーは服部祥子先生をお招きし、4年目の開催となった。今年度は「人間を考えるー精神科医の家族論～大人の発達学を視野に入れて～」について学んだ。年間6回の勉強会にはリピーターも増え、常時約50名を超える保護者や地域の方々の研修会となっている。

○ 環境整備

- ・簡易テント
- ・ドア、網戸の整備
- ・スキャナ
- ・ミスト発生器
- ・1階への階段壁 取り替え
- ・保育室家具6台
- ・プール濾過機
- ・保育室アルミサッシ整備工事
- ・屋外電波時計
- ・通園路カラーアスファルト舗装工事

**V 2014年度入試結果**

頌栄短期大学

保育科

志願者	174
内推薦志願者	163
受験者	174
合格者	161
入学手続者	159
収容定員	300
全学生数	323

専攻科

志願者	9
受験者	9
合格者	9
入学手続者	8
学内推薦C	4
新入生合計	12
収容定員	40
全学生数	25

2014年度 学生数 (5月1日)

△ 保育科 1年生159名、2年生163名 計322名

△ 専攻科 1年生12名、2年生13名 計25名

頌栄幼稚園

入園志願者	45
合格者	43
入園手続者	40
全園児数	118

## ○頌栄保育学院財務状況について

2013年度決算について、監事監査、公認会計士監査を経て5月30日の理事会で審議議決されました。学院全体で定員の確保と経費削減に努めてまいりました結果、資金収支では予算比収入増850万円、支出減2970万円、消費収支では予算比帰属収入増330万円、支出減2010万円となり、予算時の目標を改善して達成することができました。次年度繰越支払資金は前年度とほぼ同額の4億9800万円です。帰属収入合計が5億8290万円、消費支出合計が5億5640万円で、帰属収支差額は2660万円となります。当年度はB棟改修工事とそれに伴う機器備品の整備等5500万円を含めて、基本金組入額が7000万円となったため、残念ながら消費収支差額は4340万円のマイナスとなり、繰越消費支出超過額を漸次減らしていくという目標からは逸れてしまいました。中長期的に大規模な施設設備の改修工事計画を立てるなかで、授業料や人件費の検討をすすめ、個々の支出のきめ細かい管理により健全な財政の維持に努めていきたいと考えています。

## ○資金収支の推移

単位:百万円

決算年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
当年度収入	747	690	686	738	773
資金収入調整勘定	△ 205	△ 143	△ 170	△ 162	△ 214
収入合計	542	547	516	576	559
前年度繰越支払資金	380	358	402	443	498
収入の部合計	922	905	918	1019	1057
当年度支出	605	515	500	527	610
資金支出調整勘定	△ 41	△ 11	△ 25	△ 6	△ 51
支出合計	564	504	475	521	559
次年度繰越支払資金	358	401	443	498	498
支出の部合計	922	905	918	1019	1057
繰越支払資金差額	△ 22	43	41	55	0

### 資金収支計算書について

資金収支計算書は文字通り資金の収支を計算したもので、一言でいえば家計簿のようなものです。

収入の部合計は、当年度収入＋前年度繰越支払資金

支出の部合計は、当年度支出＋次年度繰越支払資金 で収入の部合計と支出の部合計は一致します。

### 資金収支計算書の構造

当年度収入	当年度支出
	次年度繰越支払資金
前年度繰越支払資金	
収入の部合計	支出の部合計

## ○消費収支差額・帰属収支差額の推移

単位:百万円

決算年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
帰属収入	552	483	506	541	583
基本金組入額	△ 38	△ 21	△ 26	△ 48	△ 70
消費収入の部合計	514	462	479	492	513
消費支出の部合計	520	478	482	486	556
消費収支差額	△6	△16	△3	6	△ 43
帰属収支差額	32	5	23	55	27

### 消費収支計算書について

消費収支計算書は企業会計でいえば損益計算書に相当します。

帰属収入＋基本金組入額＝消費収入の部合計

消費収入の部合計－消費支出の部合計＝消費収支差額

帰属収入－消費支出の部合計＝帰属収支差額

帰属収入:借入金等を除いた本来学院に入るべき収入

基本金組入額:建物設備等に注入した金額(マイナスの数値で計算します)

消費収入:定常的な消費に使える金額



## ○貸借対照表科目数値の推移

単位:百万円

決算年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
固定資産	2,966	2,934	2,911	2,901	2,919
流動資産	411	418	465	518	556
内現金預金	359	402	443	498	498
<b>資産の部合計</b>	<b>3,377</b>	<b>3,352</b>	<b>3,376</b>	<b>3,419</b>	<b>3,475</b>
固定負債	247	239	226	222	207
流動負債	201	175	193	184	229
内前受金	138	159	158	167	167
<b>負債の部合計</b>	<b>448</b>	<b>418</b>	<b>419</b>	<b>406</b>	<b>436</b>
1号基本金	3,639	3,660	3,687	3,735	3,805
4号基本金	40	40	40	40	40
<b>基本金の部合計</b>	<b>3,679</b>	<b>3,700</b>	<b>3,727</b>	<b>3,775</b>	<b>3,845</b>
翌年度繰越消費支出超過額	750	766	769	763	806
<b>消費収支差額の部合計</b>	<b>△ 750</b>	<b>△ 766</b>	<b>△ 769</b>	<b>△ 763</b>	<b>△ 806</b>

### 貸借対照表について

貸借対照表は借方の資産の部、貸方の負債の部、基本金(企業会計の資本金)の部、消費収支差額(企業会計の剰余金)の部から構成される。開始時点の貸借対照表(=前年度末貸借対照表残高)に当年度の個々の会計取引が反映された結果が、期末貸借対照表にほかならない。資産のうちの支払資金(現金預金)の増減内容の内訳を項目別に表現したものが資金収支計算書であり、消費収支差額(剰余金)の増減を項目別に表現したものが消費収支計算書であるが、貸借対照表はそれらを統合して、各年度末の学校法人の財政状態を明らかにするものである。貸借対照表は過去からの学校経営の結果そのものを表し、学校経営の状態を表現した“顔”である。学校経営の健全度合い、問題点等がすべて貸借対照表に凝縮されている。

借方を構成する資産は学校法人がサービスを提供するために保有する経営資源の状況を表している。学校運営のための適切に整備された設備・インフラとしての固定資産と運転資金となる支払資金とのバランスが重要である。貸方の各部は保有する経営資源の財源を表している。設備投資や長期の運転資金のための借入金のある程度認められるとしても財源の大部分が返済(将来的なキャッシュアウト)する必要のない基本金や消費収支差額から構成されていることが重要である。

## ○貸借対照表関係比率の推移

比率(%)

決算年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
自己資金構成比率	86.7	87.5	87.6	88.1	87.5
流動比率	204.5	238.9	240.9	281.5	242.8
前受金保有率	260.1	252.8	280.4	298.2	297.5
総負債比率	13.3	12.4	12.4	11.9	12.6
負債比率	15.3	14.1	14.2	13.5	14.4

### 貸借対照表関係比率について

<自己資金構成比率> 自己資金は充実されているか [計算式]自己資金÷総資金 →高い値が良い

基本金と消費収支差額を合計した自己資金の総資金に占める構成割合である。この比率は、学校法人の資金の調達源泉を分析する上で、最も重要な指標である。この比率は、高いほど財政的に安定しており、50%を割ると他人資金が自己資金を上回っていることを示している。

<流動比率> 負債に備える資産が蓄えられているか [計算式]流動資産÷流動負債 →高い値が良い

流動負債に対する流動資産の割合である。1年以内に償還または支払わなければならない流動負債に対して現金預金または1年以内に現金化が可能な流動資産がどの程度用意されているかという、学校法人の短期的な支払い能力を判断する指標である。一般に金融機関等では、200%以上であれば優良とし、100%を切っていると、資金繰りに窮しているとみる。しかし学校法人では、流動負債には前受金の比重が大きいことや流動資産はほとんど当座に必要な現金預金であることを考慮すると、必ずしもこの比率が低くても資金繰りに困っているとは限らない。

<前受金保有率> 負債に備える資産が蓄えられているか [計算式]現金預金÷前受金 →高い値が良い

流動負債の中の前受金と流動資産の中の現金預金との関係比率である。この比率は、翌年度の帰属収入となるべき授業料や入学金等を当該年度に前受金とした場合その資金が、翌年度繰越支払資金として、当該年度末に保有されているかどうかを見るものである。従い、この比率が100%を割るということは、その前受金が先食いされているか、現金以外のものに運用されているかを示している。特に前者の場合は資金繰りが苦しい状態のあらわれと考えられる。

<総負債比率> 負債の割合はどうか [計算式]総負債÷総資産 →低い値が良い

固定負債と流動負債を合計した負債総額に対する総資産の割合。この比率は総資産に対する他人資金の比重を評価する重要な関係比率である。50%を超えると負債総額が自己資金(基本金+消費収支差額)を上回ることになり、さらに100%を超えると負債総額が資産総額を上回る状態、いわゆる債務超過となる。

<負債比率> 負債の割合はどうか [計算式]総負債÷自己資金 →低い値が良い

他人資金と自己資金との関係比率である。この比率は他人資金が自己資金を上回っていないかどうかを見る指標で100%以下で低いほうが望ましい。なお、この比率は総負債比率、自己資本構成比率と相互に関連した比率であるがこれらの比率より差異が目立ちやすい。

監 査 報 告 書

2014年(平成26年)5月23日

学校法人 頌栄保育学院

理事長 酒 井 哲 雄 殿

監 事 山 口



監 事 谷川 俊一



2013年(平成25年)4月1日から2014年(平成26年)3月31日まで  
の2013年度(平成25年度)中の職務の執行を監査するため、理事会・評議員  
会に出席し、理事から業務の説明を受け、監事として必要な監査基準に準拠し  
て監査手続きを実施した。

その結果、会計に関する事項は諸基準通り継続して適用されており、かつ業  
務については適法に処理しているものと認めた。

よって、当学院の2014年(平成26年)3月31日現在の経営状況は正しく  
表示しているものと認める。

以 上